

【お知らせ】

2023年度GBRC建築技術セミナー (大阪会場)のご案内

今年度も昨年に引き続き、性能評定課(防災と構造および材料グループ)と建築確認検査課が合同でセミナーを開催いたします。詳細な情報につきましては確定次第、メルマガ臨時便や各種SNS等でお知らせします。今年度も是非ご参加ください。

○セミナーテーマ

「未来社会と建築」～大阪関西万博から～

○場所

ホテルクラシア大阪ベイ



○アクセス(電車にて)

大阪市営地下鉄中央線
「コスモスクエア駅」から
バスで5分



○日時

2024年2月28日(水)

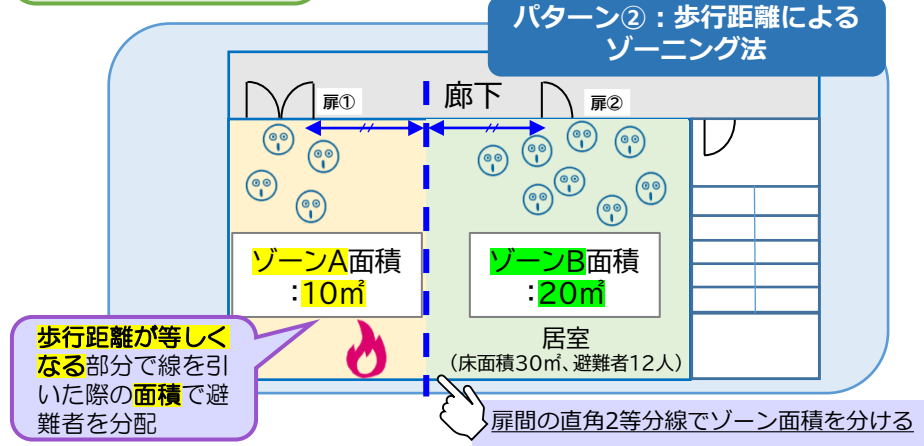
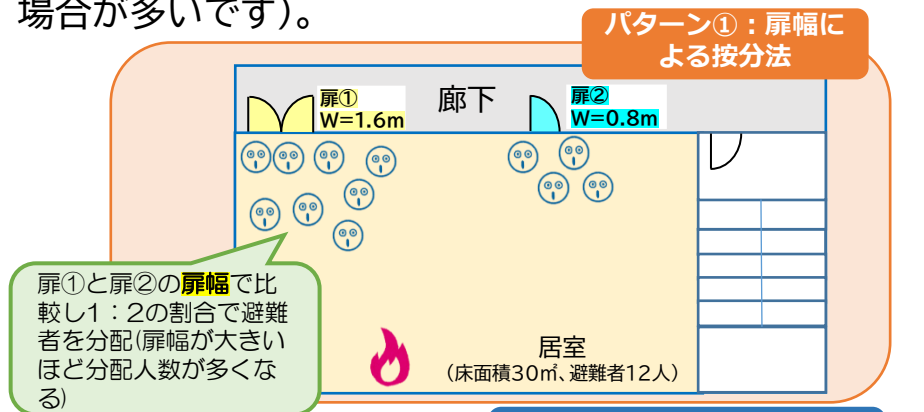
○昨年度のセミナーの様子
(大阪市中央公会堂にて)



【避難計算解説 vol.16】

複数の出口がある場合の避難者の配分

今回は複数の出口がある場合の避難者の配分方法について解説します。居室や廊下において複数の出口(避難経路)がある場合は、原則以下のいずれかのルールを用いて避難者を配分し、扉通過時間を算出する必要があります(一般的にはパターン①の扉幅按分法を用いる場合が多いです)。



【ご紹介】YouTubeチャンネル チャンネル登録者数200人突破！！

2021年9月に開設しました「GBRCシアター」がチャンネル登録者数**200人**を突破しました。

10月から12月にかけては、「特別避難階段の付室」について前編、中編、後編と3部に分けて、防災計画の視点からわかりやすく説明します。12月の後編動画もお楽しみに！！

特別避難階段の付室ってなに？

10月
前編



～投稿内容～

- ・安全区画と付室の違い
- ・付室の役割
- ・付室の構造

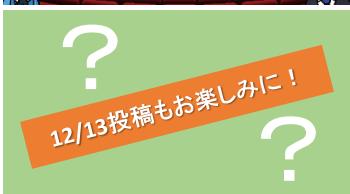
11月
中編



～投稿内容～

- ・付室の排煙
- ・付室の給気
- ・機械排煙の給気取入れ位置

12月
後編



～投稿内容～

- ・付室兼乗降ロビー
- ・扉の開き方向
- ・付室設置免除の条件

毎月第2水曜日に投稿

[チャンネルページへ](#)

発行者：一般財団法人 日本建築総合試験所建築確認評定センター
性能評定課 防災G
TEL: 080-8303-3873(中野)、080-8303-3872(長野)
080-8303-3874(前山)
E-mail: seinou4@gbr.or.jp

【ご紹介】委員会スケジュールについて

今後の委員会日程は下記のとおりです。
HPにも掲載しています。

HP(委員会日程)

		12月	1月	2月	3月
防災計画 評定委員会	小規模共同 住宅委員会	6	11	8	1
	本委員会	21	29	22	19

		12月	1月	2月	3月
避難・耐火性能評価 委員会		22	26	16	22

(※2023/11/30現在)

【編集後記】

「火の用心、マッチ一本、火事の元」。気温も寒くなり空気が乾燥し冬の訪れを感じる季節になってきました。今回は11月号ということで、「11」と「防災」にまつわる世界遺産の話題です。日本にある世界遺産の内、文化遺産と呼ばれる遺産が「11件」あり、本号ではその中でも兵庫県姫路市にある日本木造城郭建築の最高傑作とも呼ばれる「姫路城」についてです。

姫路城は白い見た目の「華麗さ(デザイン)」だけでなく、螺旋状の構成や自然の丘の地形を巧みに生かした敵陣からの防衛能力などの「機能性」も兼ね備えています。更に、建築的な観点に加えて、現在まで2度の主な修復作業を行いながら「真正性」を保つ取り組みについてなどが総合的に評価され世界遺産に登録されました。姫路城は、白漆喰の総塗籠の外壁が特徴でその姿から「白鷺城」とも呼ばれています。諸説ありますが、建物が「白い」意味には「美による威嚇」と「防火に優れる」といった防災的な観点からも意味があると言われています。もしかすると、歴史ある建築物においても「防災」への意識があり、その防災意識が現在の私たちに「遺産」として受け継がれているのかもしれない。



記：前山